



# GLOBAL MAPPING NewsLetter 69

## 地球規模の地理空間情報管理 (GGIM) に関する 第 2 回ハイレベルフォーラム等関係会合報告

福島 芳和  
国土地理院応用地理部長



各国の地理空間情報当局の代表者、数カ国からの閣僚、地理空間情報に関する国際機関及び民間企業が一堂に会する第 2 回 GGIM ハイレベルフォーラムが、カタール・ドーハで開催されました。

2 月 3 日に官民交流フォーラムが、4 日から 6 日まで第 2 回 GGIM ハイレベルフォーラムが開催されました。また、サイドイベントとして 7 日に、地理空間情報管理の西アジア経済社会委員会 (ESCWA) の地域協力に関するセミナーが開かれました。

官民交流フォーラムは、最も高い地位レベルでの地理空間産業界の関与を促進し、4 つの重点課題について議論がなされました。

第 2 回 GGIM ハイレベルフォーラムはカタール国のホストのもとで、地理空間情報当局代表者等約 60 カ国 300 名、国連から 10 名、国際機関、民間企業から約 50 名の参加がありました。開会式では、首相のハマド・ビン・ジャーシム氏が歓迎の挨拶を行いました。その後、次の 5 つのセッションにおいて議論がなされました。

1. 「各国における地理空間情報システムの構築」
2. 「地理空間情報の将来トレンド：情報基盤の成長及び高度利活用の推進」
3. 「グローバルな測地参照系の構築とロケーションベースサービスへのサポート」
4. 「地理空間情報及び持続可能な開発 (Rio+20)」
5. 「地球規模の基本的な参照データセット構築に向けた諸課題」

セッション 4 の「地理空間情報及び持続可能な開発 (Rio+20)」において、筆者が「持続可能な開発のための地球地図」(GM4SD) の作業部会の取組について基調講演を行いました。昨年 8 月の第 2 回国連地球規模の地理空間情報に関する専門家委員会会合 (2nd UNCE-GGIM) の決定に従って既存の地図サイトや地理空間情報の活用事例等に関する調査の中間報告を行うとともに、既存の「地球地図」をプラットフォームのベースマップ (地名・国境情報を含まない) として発展させるべくピア・レビューを実施すること、各国の関心が高い局所的な都市防災を題材にプラットフォームの技術的・制度的課題についての検証を行っていく方針を紹介しました。続いて、ベルギー、ノルウェー、インドネシア、欧州環境機関の代表から、Rio+20 を受けた各国・地域の取組が紹介されました。最後にチェン顧問が、GM4SD の WG の今後の活動や都市災害への応用の重要性について強調しました。また、セッション終了後、GM4SD の非公式会合が行われました。

フォーラムの最後に議長サマリー及びドーハ宣言が採択されました。

## 地球地図ラトビア第 2 版の公開

バルデイス・ベルジンズ  
ラトビア地理空間情報局地理情報副部長



筆者

国立の機関である「ラトビア地理空間情報局」(LGIA)は測地、地図及び地理空間情報分野で国家政策を実施するラトビアにおける主要な機関です。LGIA の活動領域は非常に広範です。LGIA は、「ラトビア測位システム」と呼ばれる恒久的な全球測位基地局体系である国家測地ネットワークを整備・維持し、縮尺レベル 25 万分 1～2 千分 1 の範囲の地形図とともに、地表画像及びリモートセンシングデータ、正射写真、デジタルの地表・地形モデル等の地理空間情報関連データの入手、編集及び更新を行っています。また、LGIA では縮尺 50 万分 1 及び 100 万分 1 の全体図を作成しています。さらに、LGIA では国家地名データベースの整備・維持を行っています。

ラトビアは 2001 年 12 月 5 日から地球地図プロジェクトに参加しています。2004 年には地球地図ラトビア第 1 版のデータ公開が完了しました。地球地図ラトビア第 2 版は 2012 年 11 月 22 日に正式に公開され、現在 ISCGM のウェブサイトです。そのため、関心のある方はどなたでもラトビアについての正確な地図データにアクセスすることができます。

地球地図ラトビア第 2 版は以前のバージョンと比べて多くの変化を取り入れました。データは新しい

仕様に従い作成され、ユーザーフレンドリーの標準化されたベクターデータ形式である GML が導入されました。すべてのベクターレイヤ（境界、交通網、水系及び人口集中域）が更新されました。2009 年 7 月にラトビアの行政区の改正が完了したことにより、境界レイヤが最も多く更新されました。境界が変更されたばかりでなく、地方自治体の 2 段階から 1 段階への変更が行われました。その他のベクターレイヤも最新の情報を含んでいるため、データの品質が改善され、データ量も増加しました。

LGIA はラトビアに関する正確な情報を発表し、国外で利用可能にすることに関心を持っています。残念なことに、インターネットの情報源では、ラトビアについて、たびたび間違ったデータを提供しています。最も頻繁に起こる間違いは、地名の誤り、古くなった道路網データや不正確な水系情報に関連しています。

LGIA の経営者は地球地図プロジェクトへの参加を非常に重要であると考えています。国際的なプロジェクトへの関与は組織の専門家にとって貴重な経験の源であるため、LGIA は、常にそのようなプロジェクトへの関与に熱意を持っています。



地球地図チーム

## 地球地図ボツワナ第 2 版の公開

ゴッドfrey・レトル  
ボツワナ測量地図局ジオインフォマティクス部長



筆者

ボツワナ測量地図局 (DSM) はボツワナの主要な国家地図作成機関です。本局の主な役割は、測量、地図作成、リモートセンシング及び地理情報システム等の技術を用いた地理空間データの収集、管理及び配布です。

業務には以下の項目が含まれます。

- 国家測量基準点の枠組みの提供、
- 国土全体の地籍測量の実施、  
法規の調査及びすべての地籍測量の認可、
- 国家地図作成プログラム - 地形図、空中写真、正射写真、リモートセンシングデータ及び主題図の提供、
- 国家地理データベースの整備、管理及び維持、
- 地理情報の配布。

ボツワナは、2002 年～2003 年の地球地図第 1 版の作成の際に、地球地図プロジェクトの活動に初めて参加しました。地球地図国際運営委員会 (ISCGM) 事務局は、地球地図整備のため、各国の国家地図作成機関宛に自国の地理データの支

援を要請する書簡を送りました。その要望に応じて、DSM は ISCGM 事務局にデータセットを提出しました。

DSM は、過去 10 年間にわたり国家データベースの更新を行い、このデータベースのデータが地球地図ボツワナ第 2 版整備のために用いられました。

国家データベースの地形データセットは、全国を網羅する白黒の 1 メートルピクセルの国家正射写真画像から数値化されました。行政界は土地測量者から供給された地理座標から作成されました。衛星画像と全地球測位システムが国家データセットの更新のために用いられました。

国家地図作成と既存の情報システムの基盤を形成する国家データベースの目的は、開発と意思決定を支援することです。

水系、交通網、境界及び人口集中域から成るデータセットは、地球地図仕様に従い調整され、ISCGM 事務局から提供された品質管理プログラム (GMDC) で検証されました。メタデータは、提供された雛形を用いて地球地図データのために作成されました。

地球地図プロジェクトは非常に素晴らしいプロジェクトで、私達の地理成果物についての意識と知識の向上に貢献するでしょう。また、ボツワナの地図と地理データが世界的に利用される新しい機会をもたらしました。

## 事務局から

### 地球地図公開と地球地図プロジェクトへの参加

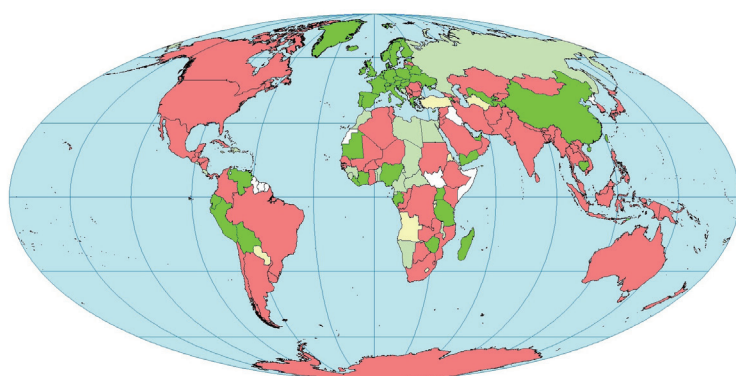
2012 年 12 月 25 日に前回のニュースレターが発行されて以降、新たに下記の国と地域の地球地図第 2 版が公開されました。データ作成についてご協力頂き、ありがとうございました。

2013 年 1 月公開 ブルキナファソ、ギニア・ビサウ、イラン、ラオス、

2 月公開 グルジア、ニジェール、オマーン、フィリピン、セントヘレナ島、

3 月公開 ドミニカ、モザンビーク、ウルグアイ、ザンジバル

現在 166 カ国 /16 地域が地球地図プロジェクトに参加し、76 カ国 /7 地域（うち Ver.2 を公開しているのは 30 カ国 /3 地域）の地球地図が公開されています。



- データ公開中
- データ検証中
- データ作成中
- プロジェクト参加を検討中
- プロジェクト未参加

本図は参考のために作成したものであり、国境については  
いかなる組織によっても公認されたものではありません。

## 地球地図及び関連の会議

以下は地球地図及び関連の会合の予定です。関連の会合についての情報を歓迎します。

### 2013 年

- ・ 4 月 24 日～ 26 日、成都、中国  
国連地球規模の地理空間情報管理に関する  
成都フォーラム
- ・ 4 月 26 日、成都、中国  
第 1 回国連地球規模の地理空間情報管理に関する  
アジア太平洋地域委員会理事会
- ・ 7 月 21 日～ 24 日、ケンブリッジ、英国  
ケンブリッジ会議 2013

- ・ 7 月 24 日～ 26 日、ケンブリッジ、英国  
第 3 回地球規模の地理空間情報管理に関する  
国連専門家委員会
- ・ 10 月 28 日～ 30 日、テヘラン、イラン  
第 2 回国連地球規模の地理空間情報管理に関する  
アジア太平洋地域委員会総会



NEWSLETTER は地球地図情報誌として、世界中の国家地図作成機関や地球地図データ利用者など 1,200 名以上の多数の方々に配布されています。記事の投稿、配布の希望、関連する情報などお待ちしております。本誌の記事は、原文をそのまま掲載してあります。

編集・発行： 地球地図国際運営委員会事務局

連絡先： 〒305 - 0811 茨城県つくば市北郷1番 国土地理院内

Tel: 029 - 864 - 6910 Fax: 029 - 864 - 8087

ホームページ: <http://www.iscgm.org/>

E-mail: [sec@iscgm.org](mailto:sec@iscgm.org)